

委員名	意見	回答
多和田委員	P4-71 美女木地区における防犯に係る現状について 美女木地区における犯罪の内訳を見ると、他地区と大きく異なり、その他の犯罪（万引き）が特に多い状況となっています。これは、全国的にも問題になっていた外国人グループによる組織的犯罪でしょうか？それとも個人による万引きが多いという状況でしょうか？地区特有の事由などがあれば、今後の対策やまちづくりにも関わってくるかと思ひ、事前に質問させていただきました。	大規模商業施設があることによる、万引き件数が多いためです。
深堀委員長	P5-4, 5 立地適正化計画の方針から以降のページへのつながりについて P5-6以降の居住誘導区域、都市機能誘導区域、誘導施策へのつながりが分かりづらい。	P5-5につながりが分かりやすいよう、 (3) 方針を踏まえた住環境及び生活利便性の維持向上による持続可能なまちづくりの実現 第2章で定めた将来都市像、第5章(2)で設定した方針を踏まえ、立地適正化計画における「居住誘導区域」及び「都市機能誘導区域」を設定し、誘導施策を展開することで、住環境及び生活利便性の維持向上による持続可能なまちづくりの実現を進めます。 を追記しました。
深堀委員長	P5-8 居住誘導区域の設定条件について ①住工共生ゾーンはすべての地域が対象となっているのか。	工業系土地利用の割合により除いている地域があるため、 修正前 住工共生ゾーン 修正後 住工共生ゾーン（一部を除く） としました。
多和田委員	P7-8～ 計画目標値について 「表7-2 方針1に関する計画目標値①」では、「駅周辺に～市民の割合」とあり、 「表7-7 方針3に関する計画目標値①」では、「公共交通の～市民の評価（非常に良い＋やや良い＋普通の割合）」とあります。 後者では、具体的に市民意識調査の結果でどう答えたかの回答が明確に記されていますが（（ <u>非常に良い＋やや良い＋普通の割合</u> ）と記されている）、前者では記されていません。 これは意図があつてのことでしょうか？前者においても、明確に〇〇と回答の割合、としておいたほうがわかりやすいかと思いました。 （同様のことが、表7-4、表7-16、表7-17、についても言えます。）	統一するため（）書きを追記いたしました。
多和田委員	P7-10 計画目標値について 「表7-7 方針3に関する計画目標値①」では、「公共交通の～市民の評価（非常に良い＋やや良い＋普通の割合）」とありますが、調査は5段階評価でしょうか？ そうである場合、ここに「普通」を含めるべきではないと考えます。「普通」の回答は、一般的には「どちらともいえない（可でも不可でもない）」かと思しますので、これを市民の評価を得ている、と解釈するのはどうかと感じました。 （同様のことが、表7-11、についても言えます。）	「表7-7 方針3に関する計画目標値①」における回答選択肢は、5段階評価です。 調査項目によって、回答選択肢が4つや5つの場合があります。 そのため、回答選択肢が4つの場合、良いという趣旨の回答選択肢が2つ、悪いという趣旨の選択肢が2つあり、その他にわからないという選択肢、無回答である場合があります。 回答選択肢が5つの場合、良いという趣旨の回答選択肢が2つ、普通、どちらともいえないという趣旨の選択肢が1つ、悪いという趣旨の選択肢が2つあり、その他にわからないという選択肢、無回答である場合があります。 なお、調査項目によって言い回しは違う場合があります。 普通、どちらともいえないという趣旨の選択肢を含めた理由としては、上位計画である総合振興計画において、悪いという趣旨の回答とわからない、無回答を除く方向性であることから、それに倣っております。